

支援における「境界侵犯」とは？

～心理臨床における関係性に目を向ける～

日 時：2025年6月15日(日) 14:00～16:00

会 場：草津市立市民交流プラザ 大会議室

(滋賀県草津市野路一丁目 15 番 5 号 フェリエ南草津 5 階)

定員 100 名
(先着順)
参加費
無料

私たちは「心理の専門家」として、良かれと思った支援がクライアントにとって有害になっていないか、常に自らに問い続けることが求められます。特に、クライアントとの心理的・身体的距離や境界のあり方は対人支援の基本であり重要な課題であるにもかかわらず、「境界侵犯は一部の不心得な支援者の問題に過ぎない」と考え、他人事として意識の隅に追いやってはいないでしょうか？

ところがデータが示すのは、性的境界侵犯すらも特殊なケースでなく、身近に起こりうる現実であるということです。悪意ではなく、クライアントに共感し、何とかしてあげられないかと模索する熱心さやそれに基づく通常の支援の限界を超えていく試みが「すべり坂」となる怖さがあります。

臨床には創意工夫や試行錯誤が付き物ですが、支援における構造(力関係)を自覚しておくことや、支援者自身のクライアントに対する「陽性・陰性感情」「正したい反射」などに向き合っていないと、紙一重で有害な支援に陥りかねません。例えば、ボディタッチやささやかなプレゼントなど誰もが経験するようなできごと、臨床現場ごとの「関係性」で意味が異なります。

私たちが関係性を読み解き、意識化し、「境界侵犯」を起こさないためには何が必要でしょうか？この分野に詳しく、具体的で分かりやすい話をしてくださる講師をお招きし、ぜひ皆さんと一緒に学びたいと思います。

心理職だけでなく、対人支援に関わる方(守秘義務のある専門職)はどなたでもご参加ください。



講 師：^{きたむら たかひと}北村 隆人 先生 (精神科医・臨床心理士)

東洞院心理療法オフィス、太子道診療所精神神経科。

1993年京都府立医科大学医学部卒業。マツコーリー大学教養学部哲学科 Graduate Diploma 課程修了。立命館大学大学院先端総合学術研究科一貫制博士課程修了。博士(学術)。日本精神分析学会認定精神療法医スーパーバイザー。

著書に『共感と精神分析——心理歴史学的研究』(みすず書房 2021)、共訳書にシミントン『分析の経験——フロイトから対象関係論へ』(創元社 2006)、ギャバード『精神分析における境界侵犯——臨床家が守るべき一線』(金剛出版 2011)ほか。

お申込先：<https://forms.office.com/r/MSFLdSnrXm>



申込締切：6月10日（火）

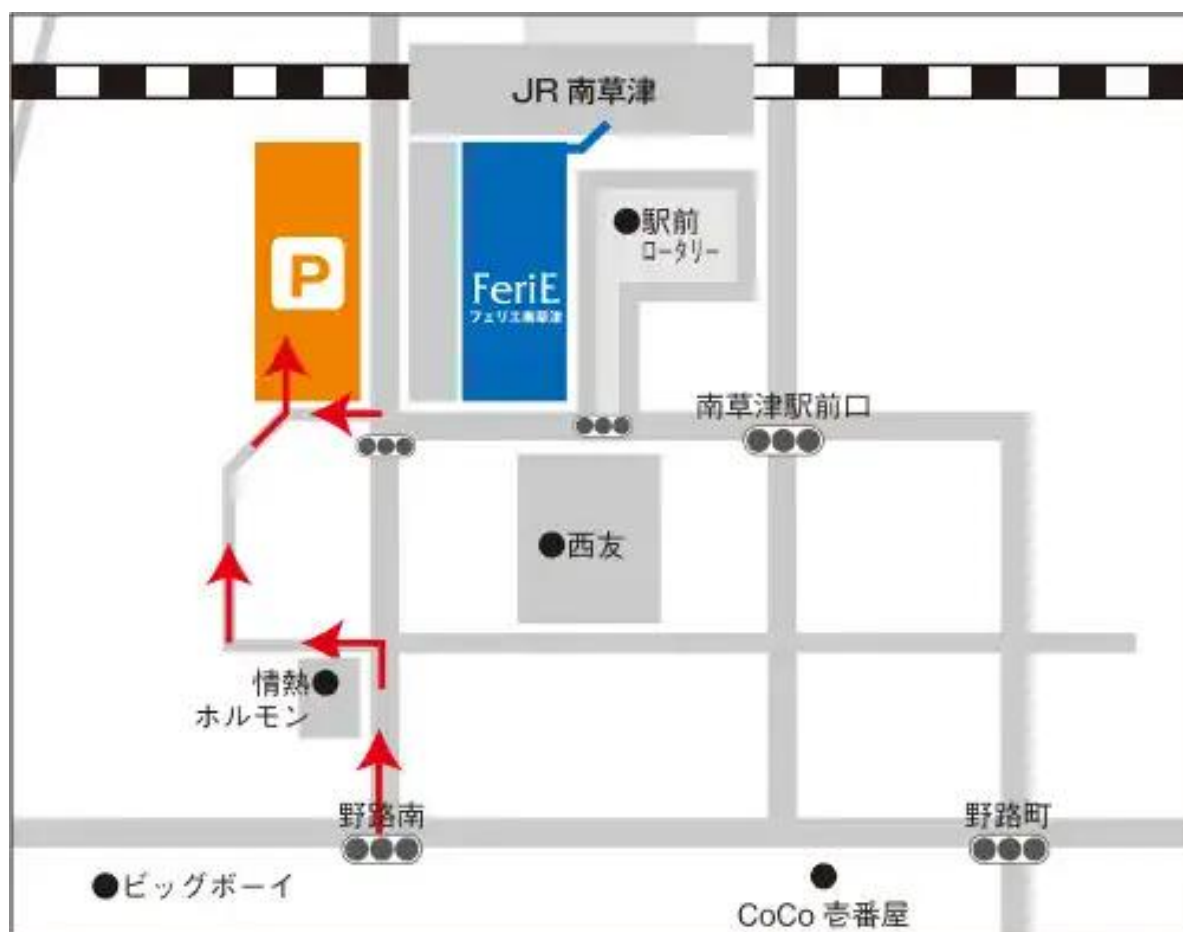
- ※ 先着 100 名様とさせていただきます。
- ※ ご参加いただけない場合は、メールにてご連絡差し上げます。

会場のご案内：

草津市立市民交流プラザ 大会議室

フェリエ南草津 5F

〒525-0059 滋賀県草津市野路 1-15-5（JR 琵琶湖線南草津駅東口徒歩 2 分程度）



お問い合わせ先：一般社団法人 滋賀県公認心理師会



cpp.shiga.kenshu@gmail.com

